

一年次主任 若林 理一郎

ところで、一年次生が大学受験をする年度から、新入試が導入されます。真の「学力」を育てようと、文部科学省も本腰を入れて制度改革をしています。

また、今まで以上に受験生を多面的に評価しようとする中で、調査書の様式が大幅に変更されます。今まではA3判で表裏一枚の用紙であったものが、枚数の上限が撤廃され、いくらかでも書けるようになるということでは

す。さらに、記述欄も細分化され、一層多面的に評価されることが求められています。

「この改正の背景には、この「学力」を育成するには、生徒一人ひとりの「成長実感」が必要であるという思いがあるようです。以前、我々の世代は、「詰め込み教育」を受けました。それに対する批判と反省から、後に「ゆとり教育」が生まれ、また「脱ゆとり」が批判に晒される事態になりました。グローバル化が叫ばれるようになり、我々は列強国と対等に渡り合えなければなりません。これらのことを踏まえて学校教育において、「思考力と表現力の育成」が、今まで以上に必要だといふ判断に至ったのでは

ろん、極々少数の人々には、十二分にそのよ
うな資質はあるのでし
ようが、国家・国民レ
ベルで考えたときに、
まだまだその質や量は
十分とはいえないと考
えたのでしよう。

①学校の勉強を楽しく
自発的にするために
は、「できる」「わか
る」という実感や認
識が必要なんじゃな
い？

② そういう実感や認識
で進んでみようとする
んじゃない？

③ そうして、いるうちに、何かを新しい発見ができたらしい。もっと勉強が楽しくなるんじゃない？

④ その気持ちを周りの人にも伝えてもらいたく、喜びを共有できるといい。

多少、美化してしま
った気がします。も
っとこれらを大人の
解釈し、実践してい
くことを目指してい
るのが、これからの
育の方向性なのだ
と感じています。

まず、学習、進路だけでなく、生活面でも当面の目標とその実現のための方策を立てさせること。それが明確であれば、結果の是非が判断できるはずで、その結果、きちんと振り返り（反省）をさせること。このときに、できるだけ成功体験を得られるように支援をしていくことが、我々、大人の重要な役割と考えるのです。

◆入学式の様子◆



◆宿泊研修の様子◆



◆遠足の様子◆



それと同時に、子供たちに「自信」を持たせ、自分の力で行動しようという「自立心」を持たせていことも大切です。

そうすること、彼ら、彼女らは、大人への道を歩み始めるはずで。

桜陽高校だより

ゴットマン比率

校長 白鳥 真次



(校訓)

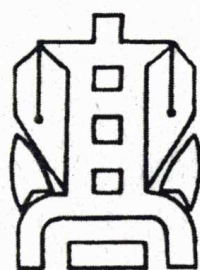
賢く 強く 豊かに

(学校教育目標)

- (1) 研學に努め、知性を錬磨する。
- (2) 環境を整え、公共心を涵養する。
- (3) 責任を重んじ、道義心を涵養する。

平成三〇年度も前期が終了しました。今年度は二二九名の新生を迎え、全校生徒六七三名でスタートしました。桜陽生は、礼儀正しく、前向きで、各種行事において、勉強だけでなく、部活動にも、五%以上の参加が、活動の中心となり、多様な生徒が、知・徳・体・心の豊かな生活を送っています。

さて、普通なら「注意や批判」に聞こえることも、注意や批判を「励まし」に響く場合があるかもしれません。側面から耳を持つて聞かなくては、米ワシントン大学の名誉教



目次

- P1 学校長
- P2 1年次
- P3 生徒会部
- P4 新社会人
- P5～P8 部活動報告

第97号

平成30年

9月28日発行

授で、人間関係の研究で有名なジョン・ゴットマン博士の『人間の関係を壊すコミュニケーションの特徴』についての興味深い記事を読みました。

コミュニケーションの種類

- ① 相手をほめるなど、「ポジティブ」なこと
- ② 相手への不満など、「ネガティブ」なこと
- ③ 事実など、どちらでもないことの3つに分けられます。

ゴットマン博士によると、ポジティブなこととネガティブなことを言う比率がある一定を超えると、人間関係が壊れやすくなるという。この比率を「ゴットマン比率」と呼ぶようですが、その比率は以下のように、関係性によって異なっていました。

- 「親子」 ポジティブ3…ネガティブ1
- 「夫婦や恋人」 ポジティブ5…ネガティブ1
- 「友人」 ポジティブ8…ネガティブ1

親子であれば、3回ほめたの1回くらい叱っても人間関係の問題は発生しないというのです。夫婦や恋人同士は5…1、友人同士なら8…1くらいの割合がメドだそうです。

ネガティブなことを素直に伝え合える関係になるには、普段から相手を尊重し、感謝の気持ちを見つけてほめる、ポジティブなコミュニケーションを取り、おこななければならぬことが分かります。

「良いことは口に出さなくても分かる」と思ってしまうことがありますが、いざという時に素直に話し合えない関係は築くために、意識的に相手の長所を探し、言葉で伝える努力をしなければならぬということです。

その記事には教師と生徒の比率は出ていませんでしたが、スポーツクラブのコーチと教

ポジティブ10…ネガティブ1
教師の参考にしたと思います。